

標 題 学生と地域のつながりを深める場に ～松江地域農業発見交流会を開催～

(ダイジェスト)

7月20日、松江地域での就農に関心を持つ農林大学校の学生9名を招き、ほ場見学や生産者との意見交換等を行う「松江地域農業発見交流会」を松江市農業士会と連携し、開催しました。

13回目となる今回は、参加学生の希望進路を分析し、満足度の高い企画になるよう工夫しました。その結果、学生と視察先農家等との間で、インターンシップの受け入れや雇用就農に関する相談など、具体的な話し合いが進められました。

この発見交流会は、松江市出身の農林大学校生に、地元での就農について考えるきっかけにしておらうと、平成23年度から毎年開催しています。

今年度は、1人でも多くの学生が松江の農業とつながりを持つことを目標に、次の手順で準備を進めました。

最初に、発見交流会の1か月前に開催された「農林大学校就農ガイダンス」において、農業士を中心として作成した「受入経営体リスト」を基に松江地域で研修生の受け入れが可能な経営体の紹介を行うとともに、学生から進路希望を聞き取りました。

次に、学生から出た意見を分析し、ニーズに合致した経営体を発見交流会の視察先として選定しました。

さらに、参加学生の多くが雇用就農を希望していることから、雇用の受け入れが可能な経営体を5者選定し、学生とのランチミーティングに参加してもらいました。

学生からは「受入経営体リストを見て、松江の農業に興味を持った」、「生産者と話をしたことで、就農について具体的にイメージすることができた」といった声が聞かれました。

その結果、学生と経営体等との間で、農留3件、インターンシップ1件、産地ツアー提案1件が決まり、当初の目標を達成することができました。

農業振興部では、今後も就農希望者の意見を取り入れながら、関係機関や農業士と連携し、担い手の育成・確保を目指した活動を進めていきます。

(画像上：受入経営体リスト)

(画像下：発見交流会／視察先の様子)

有限会社安藤農園



経営体紹介	
代表者	渡部 旭
所在地	松江市和多見町
従業員数	常雇用 1人
(農場)	臨時雇用 3人
研修	メロン 12a
可能な	ミニトマト 12a
品目	きゅうり 8a
	いちご 6a 外

沿革や特徴

- ・田2(有)安藤農園の研究農場として開設
- ・研究農場は、野菜や花の苗生産を行うほか、野菜の新品種試験栽培、(津田から)等の伝統野菜の採種も行う
- ・県オリジナルの「レゴールデンハル(ご緑玉)」の生産、販売のほか、加工品の共同開発も実施



経営者(担当者)からのメッセージ

野菜や野菜・花苗の生産販売をとおして、大塚農家、新地農産者、野菜栽培を専門にしている方、食育を進める教育機関、産学体験を希望する方など、農業に関係する様々な方を応援している会社です。

若い農業専攻生においても、「何かできるというチャレンジ精神と」「諦めない」という不屈の意志をもって会社経営に取り組んでいます。安藤農園の取組みに魅力を感じ、経営方針に興味、関心をお持ちの方をお待ちしています。

独立にむけた研修内容

- 1) 栽培の技術指導
- 2) 経営面の指導
栽培技術習得後、ハウス1棟を管理することにより農業経営を経験してもらいます。
- 3) 独立自営就農に向けた相談
市役所と一緒に収買計画の作成等を支援します。また、多くの農業者や消費者等と積極的に交流できる場を設けたいと考えています。

研修可能な品目と作業

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
メロン												
ミニトマト												
きゅうり												
いちご												

